

2017年 社長年頭挨拶（当社社内報掲載）

明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年六月に社長就任以降、半年間、新日鐵住金様の各製鉄所はじめお客様へのご挨拶、日立製作所様の名古屋・岡山のITユーザ会、日立グループ各社様の事業発表会への参加、また当社の拠点訪問（六ヶ所）等、日本全国を飛び回ってきました。昔、勤務した釜石・八幡製鉄所にも数十年ぶりに訪問しました。

お客様、またパートナー様のお力を得て、社員全員がこれまで培ってきた蓄積により、当社がここまで成長してきたことを実感いたしました。

昨年は、Brexitをはじめ国内外でさまざまな事が起こりました。「想定外」はいまや言い訳にもならず、対処すべきはビジネスも同様と感じています。本年も世界情勢の変化、これによる国内景気の動向は不透明ではありますが、IT市場の成長力は依然として力強いものがあります。また、IoTの拡がりも急速に進んでおり、浸透のフェーズに移りつつあります。

昨年の事業を振り返り本年につきまして申し上げます。

産業・流通ソリューション事業は、相当数かつ業種も多岐に亘るお客様に、SAP ERP、GRANDITをベースにしたERPソリューション、統合帳票ソリューションPaples及び医薬ソリューションPharMart等の当社独自ソリューションに加え、各種業種別ソリューションを提供しています。

一つ一つのプロジェクトをお客様の協力を得て、タイムリーかつ着実にマネジメントすることが基本であり、さらなる高度化を図っていきます。

金融ソリューション事業は、両親会社チャネルのもと一層拡大しており、当社の屋台骨となっています。プロジェクトの規模が大きくなる中、福岡開発センターも含めた継続的な体制強化を進めると共に、メインの銀行分野にプラスして他分野の拡大を目指していきます。

ITプラットフォームソリューション事業は、従来からのオンプレミス基盤構築・保守を大事にしつつ、クラウド基盤とのインテグレーションでの成長を目指していきます。鉄鋼分野では、日立製作所様のメインフレーム及びストレージの導入・保守を基本ビジネスとしつつ、IoTを含むオープン系基盤で次の展開をお客様と共に考えてまいります。

また、各事業部・プロジェクトの取り組みに加え、組織的プロジェクト管理力強化、働き方変革の推進、コンプライアンスの徹底に引き続き取り組む必要があります。

特に、総労働時間の短縮については、業務の再点検による業務量の削減・効率化を継続して粘り強く推進していきます。

昨年秋にはお台場で開催されたサイエンスアゴラに子ども向けのプログラミング教室を出展し、たくさんの親子様にご来場いただきました。ワクワク感のある会社づくりに向け邁進していきます。

今年もさまざまな課題にチャレンジし、お客様と共に成長を続けてまいりたいと思います。お客様にとって、また社員ならびにご家族の皆さんにとって素晴らしい年でありますよう心より祈念いたしまして、私の新年の挨拶とさせていただきます。

以上